

令和2年度 吹田市高齢者生活支援体制整備事業 市民フォーラム  
(仮称) 元気・健康フォーラム2020 (案)  
(動画配信)

令和2年3月に、高齢者生活支援体制整備事業を広く市民の皆様にご案内いただき機会として市民フォーラム「アクティブシニア集まれ！元気・健康フォーラム」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。令和3年3月にも同フォーラムの開催を検討しましたが、感染拡大防止のため、フォーラムの開催に代えて地域活動に関する動画の配信をすることとなりました。

コロナ禍のような災害に似た事態に見舞われた時こそ、普段の地域住民同士の活動が土台となって困難を工夫に変えて、人と人とのつながりを作る力になることを、知っていただけの動画にしていきたいという企画にしています。

(作成目的)

コロナ禍で、サロン等が長期間に渡り開催自粛が続いています。住民同士が出会えないことで、普段の暮らしの大切さ、住民同士のつながりを再認識しました。

そこで令和2年度吹田市高齢者生活支援体制整備事業市民フォーラム(以下、(仮称)元気・健康フォーラム2020)では、これまでの活動を振り返りながら、コロナ禍で取り組まれている住民同士のつながり作りや助け合い活動を紹介するとともに、今後も「誰もが安心して暮らせるまちづくり」のためには、住民の想いや気付きを基に専門職と一体となった仕組みづくり(コーディネート)が必要なことを伝えます。

(動画の活用方法)

ホームページ(吹田市)で配信。

地域で開催される高齢者生活支援に関する検討会や研修会等で活用。

(動画内容)

- ①これまでの地域福祉活動の紹介
- ②大阪教育大学 特任教授 新崎国広 氏(すいたの年輪ネット委員長)の講演
- ③コロナ禍の地域福祉活動の紹介
- ④地域づくりをコーディネートする専門機関の紹介

## (動画の構成) (4部構成)

Time (分：秒)	映像内容	編集ポイント
~0:30	(1部) これまでの地域活動やボランティア活動の紹介(サロン・訪問、ボランティア活動など)。	吹田市では、これまで多様な地域団体が、高齢者が集うサロンや昼食会、安否確認を兼ねた見守り活動などを取り組んできました。またボランティアグループも各グループの特徴を生かしてボランティア活動を熱心に取り組んできました。これらの活動を通して高齢者の社会参加や参画につながっています。
~15:00	(2部) 大阪教育大学 特任教授 新崎国広氏(すいたの年輪ネット委員長)による講演	アクティブシニアのススメ。 ~健康づくり・生きがいつくり「△するのに□はいらない!」 シニア世代が地域福祉活動に参画することに意義~
~25:00	(3部) コロナ禍でも高齢者などの住民同士がつながる活動、すいたの年輪ネットで発行している「集いの場リスト」をICTツールを活用して紹介するなど、工夫を凝らした活動を写真で紹介しします。	①コロナ禍前は、ひとり暮らし高齢者が集まり「一緒に昼食を取りながらふれあう」という昼食会を開催していました。コロナ禍で集うことが難しい中、どのように住民同士のつながり作りに取り組んだのかを紹介します。 ②コロナ禍前、地区福祉委員会と地元大学が連携した高齢者支援の取組を企画していました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる中、活動内容を工夫して高齢者と大学生とのつながりづくりを紹介します。 ③すいたの年輪ネットで発行した「集いの場リスト」や、高齢者施設職員による体操などを撮影し ICT ツールで紹介するなど、これまでの取り組みを新たな手法 (ICT ツール) で発信している活動を紹介しします。
~28:00	(4部) 地域包括支援センター、吹田市社会福祉協議会 (CSW、生活支援コーディネーター) の紹介。	これまで「〇〇で困っているから〇〇があると暮らしやすい、そのために〇〇を取り組みたい」という住民の声から、吹田の地域福祉活動は取り組まれてきました。 住民の想いを受け止め、一緒に考える専門職として地域包括支援センター、吹田市社会福祉協議会 (CSW、生活支援コーディネーター) を紹介し、住民と一緒に地域づくりに取り組む旨を伝えます。